

いし の ま ま き

No. 30 議会だより

平成24年5月15日発行

第1回定例会 平成24年度予算可決……	2
各常任委員会審査報告 ……………	4
施政方針に対する質疑 ……………	8
17人が一般質問で市政を問う……………	11
東日本大震災復興促進特別委員会 ……………	18



第1回定例会

平成24年度 復興元年予算を可決

復興へ向け本格スタート

平成24年第1回定例会は、2月29日から3月26日までの27日間にわたり開催され、市長の施政方針演説とこれに対する各会派の代表質疑が行われたほか、平成24年度各種会計当初予算をはじめ、条例、平成23年度各種会計補正予算、人事案件などの市長提出議案56件と委員会提出議案3件及び議会提出議案1件が提出されました。審議の結果、すべて原案のとおり可決されましたが、平成24年度石巻市病院事業会計予算に対し附帯決議が出され、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

過去最大規模の予算を可決

前年比195%増 当初総額3,255億5千万円

東日本大震災後、復興へ向け本格的に始動する平成24年度当初予算は、過去最大の予算規模で一般会計の総額は、2,632億円、前年度当初予算に比べ2,014億5千万円、326.2%の増となり、各種特別会計を含む総額は対前年比195%増の3,255億5千万円となった。

歳入

市税は対前年度比38.9%の減となった。これは個人や法人市民税について、雇用情勢の悪化や震災による個人所得や課

税対象法人数の減、固定資産税の家屋や償却資産の減失、評価替え等によるもの。地方交付税は、489億2千万円で対前年比136.1%増、国庫支出金は1,672億8千万円と対前年比2,165.4%増、県支出金は152億3千万円の対前年比341.3%増、市債は、106億5千万円、対前年比98.9%の増、繰入金は37億9千万円と対前年比267.1%の増となった。

歳出

防災集団移転促進事業

災害復興住宅整備事業、高等学校統合整備事業、中小企業復旧支援事業助成事業、漁港・道路・地域情報通信施設等の災害復旧に要する経費などの投資的経費は、680億円、対前年比1,453.6%増となった。被災者生活支援に係るサポートセンター管理運営経費、応急仮設住宅管理経費、災害廃棄物処理経費や震災被災者等の就労支援業務委託料など、市民生活や産業の進展に欠くことのできない事業を厳選した復旧、復興に向けた予算を可決した。

の使いみち



■平成24年度当初予算の主な事業

災害派遣職員関係費	4億7732万円
子ども医療対策費	3億9385万円
東日本大震災援護費	65億 383万円
応急仮設住宅管理費	1億5540万円
災害廃棄物処理事業費	1205億8052万円
震災等緊急雇用対応事業費	23億7550万円
農業復興対策費	3億9467万円
水産業復興対策費	2億4284万円
商工業復興対策費	7億5000万円
中小企業等融資関係費	13億5134万円
被災市街地復興土地地区画整理事業費（委託料）	21億7500万円
防災集団移転促進事業費	215億1300万円
災害復興住宅整備事業費	121億7339万円
被災児童通学支援事業費	3億4907万円

▼山積みされた災害廃棄物



復興元年

過去最大規模

平成24年度 一般会計予算

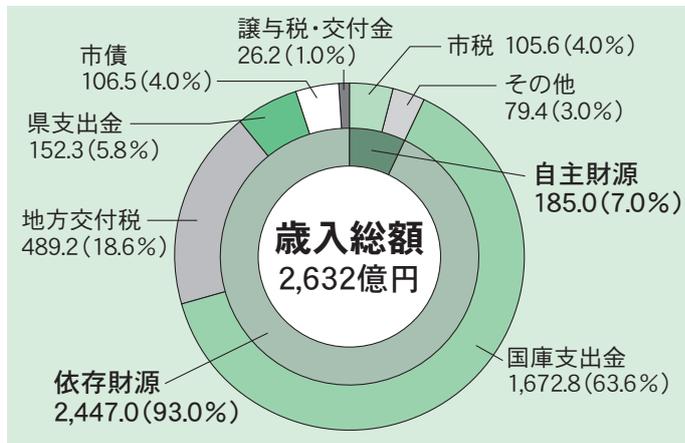
2,632億円

■平成24年度各種会計のあらまし

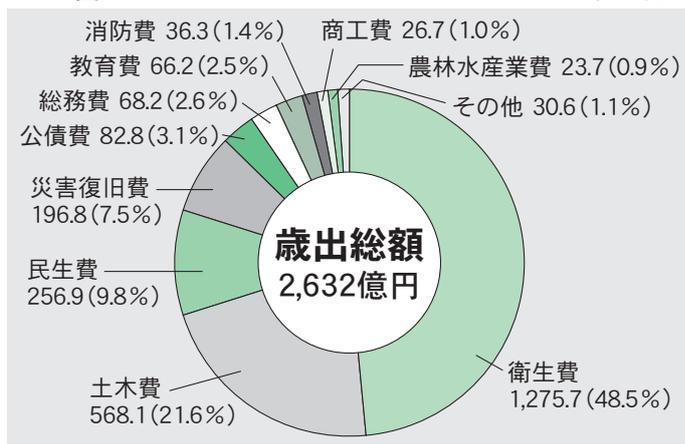
会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	263,200,000	326.2
復旧復興分	209,712,003	皆増
通常分	53,487,997	▲13.4
特別会計	59,941,534	42.5
内		
土地取得	9,238,448	296.8
水産物地方卸売市場事業	427,178	33.0
駐車場事業	22,408	▲9.4
下水道事業	17,503,647	136.9
漁業集落排水事業	28,568	64.5
農業集落排水事業	994,943	140.7
浄化槽整備事業	44,226	▲3.9
国民健康保険事業	19,774,655	3.6
後期高齢者医療	1,543,959	0.8
介護保険事業	10,363,502	▲4.9
病院事業会計	2,407,803	▲63.2
合計	325,549,337	195.0

〈一般会計予算の内訳〉

1 歳入 単位：億円



2 歳出(目的別) 単位：億円



3月7日から9日の本会議で、予算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での審査

総務企画委員会

石巻市消防団条例の一部改正について

Q 条例改正に係る消防団の状況と組織運営は。

A 現在7団長が各地区の消防団長として存在しているが、4月1日以降は7団を統括する団長が誕生し、これまでの消防団は「地区団」という名称になる。

これまで積み上げてきた歴史的な慣習、風習があることから、各地区の活動等については、これまでどおり地区団長が指揮監督することとし、市全域で活動する場合は、命令により他地域へ活動に行ける体制統合を図る。



環境教育委員会

瓦礫の広域処理について

Q 災害廃棄物処理の処理状況と今後の見通しは。

A 宮城県に委託している災害廃棄物二次処理業務について、現在(3月21日現在)建設中の一基目の焼却炉は、本年5月から稼働する予定で、五基全ての本格稼働は7月から8月頃になる見通しである。

国の瓦礫処理に関する指針では、平成26年3月までに処理を完了としているが、広域処理(県外搬出)が風評被害によって当初の見込みより遅れている状況にあり、約600万トンの瓦礫の処理は現時点では極めて難しい状況にある。

今後、広域処理については宮城県のみならず被災市も連携しながら、広域処理に向けた理解と協力を求めている。

市税条例の一部を

改正する条例について

Q 個人住民税均等割の税率引き上げによる税収への影響は。

A 東日本大震災からの復興に関し、市が実施する防災のための施策に必要な財源に充てるため、平成26年度から平成35年度までの間、均等割の税率を3,000円から3,500円に引き上げるものであり、平成23年度と比較して2,600万円の増収を見込んでいる。

保健福祉委員会

福祉避難所について

Q 災害時の要援護者のための福祉避難所開設のための協定はどのような状況となっているのか。

A 現在、介護事業所11箇所、障害者事業所3箇所、直営2箇所の合計16箇所を福祉避難所としている。今後、各事業所と協定の締結を進めながら福祉避難所のあり方、どのような場所でのようにするのか等について、災害検証の中で各団体の意見を伺い、議論を積み重ねながら検討していく。

産業建設委員会

中瀬整備の方向性について

Q 中瀬地区整備の方向性等について伺う。

A 中瀬地区は、津波により店などが流出し、石ノ森萬画館とハリストス正教会だけが残った状態となっている。

地盤沈下が著しく、災害の危険性は今後も高いと認識しており、新たな建造物を構築することは、危険であると考えている。

しかし、本市は、古来より旧北上川そして中瀬地区を中心に発展を遂げてきており、川と堤防と中瀬公園といったコンセプトは大事にしなければならぬと考えており、中心市街地も含めひとつの観光エリアを形成すべき場所であると考えている。

今後は、公園として整備をしたいと考えているが、空間を利用した各種イベントでの利用をキーワードとした計画の策定を進めていきたい。



第1回定例会に提出された議案と審議結果 (2月29日～3月26日開催)

条 例 (原案可決)

- ・石巻市コミュニティセンター条例
- ・石巻市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例
- ・東日本大震災に伴う石巻市震災奨学金給付条例
- ・石巻市上釜ふれあい広場条例
- ・東日本大震災による被災施設の廃止等に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・石巻市職員定数条例の一部を改正する条例
- ・石巻市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市市税条例の一部を改正する条例
- ・障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・石巻市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- ・東日本大震災に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市墓地条例の一部を改正する条例
- ・石巻市企業誘致条例の一部を改正する条例
- ・石巻市下水道条例の一部を改正する条例
- ・石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・石巻市消防団条例の一部を改正する条例
- ・石巻市東日本大震災復興交付金条例
- ・石巻市職員の給与の特例に関する条例
- ・石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

予 算 (原案可決)

- ・平成24年度石巻市一般会計予算
- ・平成24年度石巻市土地取得特別会計予算
- ・平成24年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市駐車場事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市下水道事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市漁業集落排水事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市浄化槽整備事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成24年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- ・平成24年度石巻市病院事業会計予算
- ・平成23年度石巻市一般会計補正予算(第11号・第12号)
- ・平成23年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第6号)
- ・平成23年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成23年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成23年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成23年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成23年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成23年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ・平成23年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成23年度石巻市病院事業会計補正予算(第3号)

そ の 他 (原案可決)

- ・財産の無償譲渡、無償貸付について
- ・権利の放棄について
- ・宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・市道路線の認定、廃止、変更について
- ・工事委託の年度協定(平成24年度)の締結について

人 事 (異議がない、同意)

- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ・教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて

委員会・議会 (原案可決)

- ・東日本大震災からの復興を誓う決議(P7に掲載)
- ・死別の父子家庭もひとり親家庭として平等に国の支援を求める意見書
- ・「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書
- ・第39号議案平成24年度石巻市病院事業会計予算に対する附帯決議(P6に掲載)

第1回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	委員会提出議案第1号 東日本大震災からの復興を誓う決議	教育委員会委員を任命するにつき同意を 求めることについて	議案第1号第39号議案平成24年度石巻市病院事業会計予算に対する附帯決議
1	阿部 久一	○	×	○
2	遠藤 宏昭	○	×	○
3	阿部 純孝	○	×	○
4	黒須 光男	○	○	○
6	高橋 左文	○	×	○
7	山口 莊一郎	○	○	○
8	大森 秀一	○	○	×
9	阿部 和芳	○	○	×
10	水澤富士江	○	○	×
11	阿部欽一郎	○	×	○
12	安倍 太郎	○	×	○
13	丹野 清	○	×	○
14	千田 直人	○	×	○
15	櫻田 誠子	○	○	○
16	渡辺 拓朗	○	○	○
17	千葉 眞良	○	○	×
18	阿部 正敏	○	○	×
19	青山 久栄	○	○	×
20	高橋 栄一	○	○	×
21	西條 正昭	○	○	×
22	庄司 慈明	○	○	×
23	石森 市雄	○	×	○
24	松川 恵一	○	×	○
25	森山 行輝	○	×	○
26	長倉 利一	○	×	○
27	伊藤 啓二	○	○	○
28	堀川 禎則	○	○	×
30	阿部 政昭	—	—	—
31	後藤 兼位	○	○	×
32	高橋 誠志	○	○	×
33	阿部 仁州	○	○	×
賛 成		30	18	17
反 対		0	12	13

※○：賛成、×：反対

※阿部政昭議員は議長であるため採決には加わりません。

第1回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市コミュニティセンター条例

○現在、施設ごとに制定しているコミュニティセンター設置条例を一本化し、新設、廃止する施設を整理するとともに、これまで条例に規定がなかった「利用料金」についても地方自治法に基づき定める。

◆東日本大震災に伴う石巻市震災奨学金給付条例

○東日本大震災により両親を亡くした子どもに対し、修学を支援する奨学金給付制度を新たに創設する。

- ①対象者…震災当時市内に住所を有していた両親が、震災により死亡または行方不明となった小・中・高校生。
- ②給付額…小学校に在学する者(月額1万円)、中学校に在学する者(月額2万円)、高等学校に在学する者(月額3万円)
- ③給付期間…対象者が高等学校を卒業するまで(学校教育法に規定する修業年度内)

人事案件

- 人権擁護委員候補者に高橋壽枝氏、佐藤正道氏、日野ゆう子氏を法務大臣へ推薦する。
- 教育委員会委員に窪木好文氏を任命する。



可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、復興支援のため派遣されている他自治体職員の派遣元団体への人件費負担金、補助内示のあった「離島航路維持費補助金」、「広域バス運行維持対策費補助金」、「放射性物質測定機器購入費」及び「急傾斜地崩壊対策事業費」などを措置したほか、石巻地方広域水道企業団への災害復旧と震災時応急給水活動に係る負担金、震災被害のあった石巻ロイヤル病院への修繕補助金及び震災復興基金の積み増しや財政調整基金への積立金などについて所要額を措置した。また、広域行政事務組合負担金や各種事務事業の執行状況等による整理、各種特別会計への繰出金、国庫補助金等の確定に伴う歳入予算の整理なども併せて行った。

また、広域行政事務組合負担金の整理及び職員の人事異動等に伴う人件費の整理を併せて行った。

決議

第1回定例会において可決された決議の内容は、次のとおりです。

第39号議案平成24年度石巻市病院事業会計予算に対する附帯決議

平成24年度石巻市病院事業会計予算において、石巻市立病院基本設計等業務委託料の予算が計上された。

東日本大震災により、壊滅的被害を受けた石巻市立病院の再建に関する事項を調査するため、「市立病院建設調整会議」を平成23年11月11日設置し、建設候補地に関する課題等整理・絞り込みを行ない8箇所に絞りまとめた。

その後、施設規模、用地取得、交通環境、災害対策、規制の有無等を選定条件に、現況農地である「蛇田地区」、同じく農地の「渡波地区」、そして「石巻駅前駐車場」の3か所に絞り込み、平成24年1月26日、用地購入費や造成費がからず、早期に着工できる点が選定の決め手になったとして、石巻駅前に決定した経緯がある。

しかしながら、この報道後、市民の多くの皆様から、目の前の現実だけで方針が二転三転し、目先の経済性だけで決めている。あるいは、市民にとって使い勝手よい場所に病院を作りたいと、言ったような声が多く聴かれた。そこで、1. 石巻駅前周辺は、津波で冠水し、1階部分が浸水した。このため、1階は駐車場とし、2階部分から病院機能を備えとした計画であるが、開院を急ぐあまり患者や体の不自由な弱者軽視ではないか。1階こそが重要な位置。これからも不慮の災害は予想をはるかに超えて発生することを考慮すると、市民病院として再考すべきである。

2. 現状でも穀町通り、立町通り、駅前周辺は、狭隘な道路で、交通渋滞、交通マヒの状態。一刻を争う救急車の走行に支障をきたすことは、誰の目にも明らかである。交通アクセスは、多くの市民が心配している。車社会に見合った、他の適地を求めべきである。

3. 先に示された3か所の候補地のうち、蛇田中学校周辺と渡波根岸前周辺は、100人以上の地権者交渉が必要で基盤整備に時間がかかる。はじめから駅前駐車場と決めていたのかと、話す市民もいる。選考過程が不透明である。以上の理由から、市長は多くの議員からも疑問視されている。病院開院までに周辺整備を行なうということについて、言葉だけで何も具体策を示さないまま、今回の予算計上となっている。どのような整備を行ない、心配されている交通渋滞の解消に努めるのか。その時期は、いつまでなのか。そして、周辺整備にどれだけの事業費予算が投入されるのか、全く示されないままの予算上程である。石巻市立病院の再建は必要である。しかし、石巻駅前駐車場は、新病院の建設地としては、非常に懸念される場所である。

よって、市立病院建設地について、今一度原点に戻り、他の場所への再考を求めるものである。以上、決議する。

東日本大震災からの復興を誓った決議

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本震災は、3,280名に及ぶ石巻市民の尊い生命を奪い、今もなお553名の方が行方不明となっている。

石巻市議会は、ここに犠牲となられた多くの方々、その御遺族に対し、改めて、衷心より深く哀悼の意を表すとともに、被災された皆様から御見舞いを申し上げます。

大震災から1年が経ち、本市においては、今なお甚大な被害のつめ跡が色濃く残る中、復興へ向け歩み始めたところである。

震災直後から、市議会は市と一体となり、国や関係機関に対し強力に支援の要請を行うとともに、市民生活の再建をめざし、各分野に全力をあげて取り組んできた。

しかし、震災による被害は甚大であり、住宅の供給や保健・福祉・医療等の被災者支援の充実のほか、産業・経済・雇用の復興など解決すべき課題は山積している。

今後、災害に強い街づくり、そして新たな石巻の街づくりに向けた取り組みが本格化していくが、石巻を愛する市民が、この大震災を乗り越え、元の暮らしを取り戻し、街が力強く再生するため、石巻市議会は今後ともあらゆる努力を傾注していかねばならない。

震災から1年が経過した本日ここに、石巻市議会は、1日も早く市民生活を安定させるとともに、石巻をいつまでも住み続けたいまち、安心して住めるまち、世界の復興モデル都市をめざし、全議員が総力を結集して、必ずや、わが郷土・石巻の復興を成し遂げることをここに誓い、決議する。



▲3月11日開催の本会議において全会一致で決議を可決

提出された請願

第1回定例会に提出された請願は次の2件です

■「死別の父子家庭もひとり親家庭として平等に国に支援を求める意見書」の提出方請願

【請願者】

仙台市太白区中田三丁目10-22
全国父子家庭支援連絡会
宮城県父子の会 村上よしのぶ

【請願要旨】

・死別の父子家庭においても『ひとり親家庭』として平等に経済・就労・貸付・雇用促進支援を受けられるよう対策を求める。

■「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書の提出に関する請願

【請願者】

仙台市青葉区本町3-7-14
宮城県精神障がい者家族連合会
代表 笠神勝男

【請願要旨】

・こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を強く求める。

※この2件の請願は保健福祉委員会で審査、本会議で採択され、関係機関に意見書を提出することに決まりました。

提出された陳情

第1回定例会に提出された陳情は次の1件です。

■防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める要請書

・地域主権改革等による行政サービスの低下、国の出先機関の廃止、移譲は行なわず体制・機能の充実をはかってほしい。

（提出者）

国土交通労働組合東北地方協議会
議長 後藤 明広

議員全員へ参考回付しました

第2回臨時会に提出された議案と審議結果

(2月10日開催)

条 例 (原案可決)

- ・石巻市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例
- ・石巻市診療所条例の一部を改正する条例

予 算 (原案可決)

- ・平成23年度石巻市一般会計補正予算 (第10号)
- ・平成23年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算 (第5号)
- ・平成23年度石巻市下水道事業特別会計補正予算 (第3号)
- ・平成23年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)
- ・平成23年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)